



## 収 穫

田圃には刈りとられた稲がズラリと干してある。黄金の稲穂が重そうに垂れている。かつての取り入れを思い出す。女達は稲を縄で束ねる役だ。男達はそれを運ぶ役だ。竹槍で前と後に稲束を突き刺し、よいしょと肩にかつぐ。田圃から細い畦道を通して百メートルばかり先の農道まで運ぶ。稲束の重量が肩に食い込む。その痛さをぐっとこらえ、重さで少々腰をふらつかせながら、ほいほいと足で拍子をとって運ぶ。農道には荷車が待っている。田圃からそこまで何十回となく往復する。体はくたくたに疲れる。段々と陽が落ちて西の空は赤く染まってくる。赤とんぼが群舞している。やっと稲を運び終えて、牛に荷車を引かせて家路につく。こんな風景はいつか遠い昔の思い出の中のものとなり、今はエンジンの音も軽やかに大型コンバインで収穫している。

## 9月のおもな行事

- 1日 個人情報保護研究会(水戸市)
- 1日 商業統計調査市町村説明会(旭村)
- 2日 稲敷郡統計事務研究会(美浦村)
- 5日 関東甲信静ブロック都県民所得研究会(十王町)
- 6～7日 特定サービス調査及び石油等消費統計説明会(山梨県)
- 11日 県西都市統計事務研究会(下妻市)
- 11・13日 市町村民所得検討会(水戸市・土浦市)
- 12～13日 第8次漁業センサス事後調査ブロック別会議(大洗町)
- 13～14日 統計グラフコンクール県審査会(旭村)
- 21日 労働力調査合同指導会(水戸市)
- 26～27日 地方統計職員業務研修(専門)(土浦市)
- 26日 工業動態統計説明会(栃木県)